

体育の日にスポーツを満喫
スポーツまつり2015

スポーツの秋

ブドウなどの果物に新米など、多くの実りの秋が並べられました。
にんじん詰め放題や宅配サービスも行う新じゃが10kg箱売りのコーナーも設けられ、会場内は、買い物客らでにぎわいました。



長なわとびに挑戦する子どもら

洞爺湖スポーツまつり2015

(同実行員会主催)
が、10月12日、虻田テニスコートとあぶた母と子の館体育館を会場に開かれ、約70人の子どもや高齢者が参加しました。

実施したのは、7種目で、テニスコートでは、健康マラソン、ストラックアウト、ミニサッカーの3種目。母と子の館体育館では、フロアカーリング、玉入れ、長なわとび、じゃんけん大会の4種目が行われ、体育の日を楽しみました。

真剣勝負で盛り上がる 高齢者運動会

第10回洞爺湖町高齢者運動会(同実行委員会主催)が、10月19日あぶた体育館で開催されました。同運動会には、町内から65歳以上の男女140人が参加し、個人競技や団体競技での真剣勝負に楽しいひとときを過ごしました。
当日は、赤、青、黄、緑の

4グループに分かれ、大玉ころがし、バケツリレー、紅白玉入れなど昼食をはさんで10種目を実施しました。
参加した皆さんは、応援を背に一つひとつの競技に元気に取り組んでいました。



元気にスポーツを楽しむ高齢者の皆さん

スポーツで住民交流 虻田7区運動会

約30年続いている虻田7区運動会(虻田7区自治会主催)が、今年も10月11日、あぶた体育館で開催され、住民約30人が参加しました。
当日は、ゲートボールのスポーツでパークゴルフのボールを缶に命中させる「一発

命中」や大豆、あずき、とら豆の3種類を箸でつまんで別の皿に移す「器用貧乏」など5種目に挑戦しました。
競技終了後は、昼食にジンギスカンが用意され、競技を振り返りながら、親睦を深めました。



豆を別皿に移す「器用貧乏」に挑戦する虻田7区の皆さん

洞爺湖畔でサッカー、フットサル大会

NP法人洞爺湖にぎわいネットワーク(福井政吉理事長)のワンストップ事業として、コンサドールカップ・洞爺湖町長杯サッカー、フットサル大会が、10月17日、18日の両日開かれました。



熱戦をくり広げた6年生のフットサル大会

会場は、財田スポーツ文化交流会館と財田グラウンドで、2日間通じて札幌市内のチームを中心に14チームが参加して、熱戦が繰り広げられました。
初日は、小学4年のサッカーと同6年のフットサルのリーグ戦を行い、2日目は、サッカーが小学5年のリーグ戦、フットサルは同6年の決勝トーナメントが行われました。
選手らは、父母たちの声援を受けて、はつらつとしたプレーを繰り返していました。